



ベトナム向け円借款貸付契約の調印：都市交通開発と農業成長
および財政支援を通じた日越関係の強化への貢献

2023年7月4日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

国際協力機構（JICA）は、7月4日、ハノイにて、ベトナム社会主義共和国政府との間で、3事業、総額609億8,300万円を限度とする円借款貸付契約（Loan Agreement: L/A）に調印しました。

今回調印した円借款貸付契約が対象とする事業は以下の3件です。

- (1) ビンズオン省公共交通インフラ改善事業（借款金額：62億4,400万円）
- (2) ラムドン省農業開発インフラ改善事業（フェーズ1）（借款金額：47億3,900万円）
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応支援借款（借款金額：500億円）

各事業の詳細は以下のとおりです。

- (1) ビンズオン省公共交通インフラ改善事業

(Public Transport Infrastructure Improvement Project in Binh Duong Province)

ホーチミン市と隣接するビンズオン省はベトナムの工業において重要な役割を担っており、日系企業を含む外資企業の投資促進が進んでいます。

本事業は、ビンズオン新都市とスオイティエンターミナル駅を結ぶ幹線道路（ミーフック・タンバン道路）上にフライオーバー、公共交通優先システム（PTPS）、中央分離帯等を整備することにより、同省内の増加する交通需要への対応、及びホーチミン市との連結性向上を図り、もってホーチミン大都市圏の経済発展に寄与することを目的とし、SDGs（持続可能な開発目標）ゴール3（すべての人に健康と福祉を）及び9（産業と技術革新の基礎をつくろう）に貢献します。

- (2) ラムドン省農業開発インフラ改善事業（フェーズ1）

(Project for Upgrading Infrastructure for Agricultural Development in Lam Dong Province(Phase1))



ベトナム随一の野菜及び花卉の産地であるラムドン省は、フードバリューチェーンの構築を含む高付加価値化・国際競争力向上のモデル地域として選定されており、同省での成功をモデル化し全土に拡大する方針が示されています。

本事業は、日越農業協力のモデル地域であるラムドン省にて、道路・灌漑施設等の農業基礎インフラ及び花卉集荷センター整備を支援することにより、農作物の生産体制の高度化・高付加価値化、安定供給体制の構築に寄与することを目的とし、SDGs（持続可能な開発目標）ゴール1（貧困をなくそう）、10（人や国の不平等をなくそう）及び13（気候変動に具体的な対策を）に貢献します。

(3) 新型コロナウイルス感染症対応支援借款

(General Budget Support Program for Socio-economic Recovery and Development of Viet Nam Post-Covid-19 Pandemic)

本事業は、ベトナムにおいて、新型コロナウイルス感染拡大による社会・経済的影響を最小限に抑えるべく、ベトナム政府が実施しているコロナ対策パッケージに必要となる資金需要に対応するものです。財政支援を通じて、ベトナムの経済・社会の安定及び開発努力を促進し、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール3（すべての人に健康と福祉を）ゴール8（働きがいも経済成長も）に貢献します。

詳細はこちら↓

[ベトナム向け円借款貸付契約の調印：都市交通開発と農業成長および財政支援を通じた日越関係の強化への貢献 | ニュース・メディア - JICA](#)

お問い合わせ：JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005(内線 137)E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp